

(一社)舞鶴観光協会

観光庁長官賞を受賞



▲表彰を受ける齋藤会長

一般社団法人舞鶴観光協会（会長：齋藤友幸）が、公益社団法人日本観光振興協会と全国産業観光推進協議会が主催する産業観光によるまちづくりで地域活性化に寄与した自治体や団体を表彰する「第10回産業観光まちづくり大賞」の観光庁長官賞を受賞。

赤れんが倉庫をはじめとする近代化遺産を活用した舞鶴赤れんがパークを観光拠点に、自衛隊施設との連携や赤れんがフェスタの開催、結婚式など来訪者・観光客の増加に結びつく観光づくりの活動が評価されました。《観光商業課》

まいづる環境市民賞

2団体1個人が受賞



▲記念撮影の様子

市内で環境活動を行っている団体や個人などを表彰する「まいづる環境市民賞」（まいづる環境市民会議主催）の受賞者が決定。11月13日、赤れんが2号棟で表彰式が行われました。受賞したのは、大杉の清水の保全活動を行ってきた「NPO 法人名水の里杉山」やフジバカマの植栽活動やアサギマダラの自然観察を行ってきた「城北中学校生徒会・同校区地域支援協議会」、長年地域の美化活動を行ってきた小林隆幸さん。

同賞は市民による環境保全への取り組みを促進することを目的に今年度より実施したもので、同会議の委員により決定しました。《生活環境課》

新幹線

北陸新幹線京都府北部ルートの実現に向けて 東京で総決起大会



10月26日、北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会（会長…多々見舞鶴市長、山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議（会長…深澤鳥取市長、北陸新幹線京都府南部ルート誘致促進同盟会（会長…木村精華町長）が主催する「山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線京都府北部ルート・南部ルートの実現を求める総決起大会」を衆議院第一議員会館（東京都）で開催。

この日、山陰新幹線を実現する国会議員の会（以下、議員連盟）会長の石破茂・衆議院議員ら12人の国会議員をはじめ、京都府北部、南部、山陰地域の関係者約250人が参加。

冒頭、山田啓二・京都府知事が「日本海側の未来を創る時が来ている。舞

鶴への北陸新幹線のルート決定が必要」とあいさつ。議員連盟の石破会長からは「何が何でも実現する。その思いで皆さんと共に戦い、成果を得たい」と力強い言葉をいただきました。

また、多々見市長は、「北陸新幹線敦賀以西ルートの行く末が、将来の日本の発展を大きく左右する。京都府北部ルートは、将来の山陰新幹線の実現に寄与し、日本海側国土軸の形成を促進する『最重要ルート』であり、山陰新幹線との接続を視野に入れると、建設コストについても合理的、効率的である」と京都府北部ルートの優位性を訴えました。

市では、引き続き、京都府北部ルートの実現に向けて取り組んでいきます。

《企画政策課》



舞鶴フィルムコミッション

ジャパン・フィルムコミッションアワード受賞

映画やテレビドラマの誘致などに取り組んでいる舞鶴フィルムコミッション（FC）が、全国のFCが加盟するジャパン



▲記念撮影の様子

フィルムコミッション（JFC）の「JFCアワード優秀賞」を受賞。10月13日に札幌市で表彰式が行われました。

同アワードは、撮影支援とその作品の活用による地域活性化に貢献した事例を表彰する制度で、平成26年に市内で撮影された映画「日本のいちばん長い日」での活動が評価されたものです。同映画では舞鶴FCの提案で赤れんがパーク、葦谷砲台跡、旧北吸浄水場配水池など旧海軍施設で撮影が行われました。

これまで同FCで支援してきた作品は「男たちの大和」「妻と飛んだ特攻兵」「海賊とよばれた男（12月10日（土）公開予定）」など。今後も魅力あるロケ地として本市をPRしていきます。《観光商業課》

あかまつ号のルート変更

より利用しやすく楽しめるように

京都丹後鉄道では、12月1日（木）から「丹後あかまつ号」の運行ルートとダイヤ、サービス内容を変更。より利用しやすく楽しめるようになります。ルートは西舞鶴～天橋立間を1日2往復に。サービス内容は、ワンドリンク・記念乗車証配布・添乗員による沿線案内や車内販売など。



丹鉄が誇る観光列車「丹後あかまつ号」に乗って絶景を眺めながら楽しいひと時を過ごしてみませんか。変更になった運行ダイヤは次のとおりです。

【運行ダイヤ】

- ◆西舞鶴駅発 … 10時9分、14時6分
- ◆天橋立駅発 … 11時29分、15時22分

※丹後あかまつ号の乗車には運賃の他に乗車整理券540円が別途必要（座席定員制車両1両のみ運行。要予約）。
▶詳しくは、京都丹後鉄道（☎0772・25・2323）へ。予約などは、同ホームページ（右上のコード）から。



安定ヨウ素剤を分散備蓄

乳幼児向けゼリー剤を新たに事前配布

10月28日から原子力災害発生時に甲状腺被ばくを防ぐために服用する安定ヨウ素剤の備蓄場所に大浦会館、西総合会館、加佐公民館の3か所を新たに追加、中総合会館（保健センター）と合わせ、公共施設4か所に分散備蓄しました。これにより32か所の避難時集結場所への迅速な配布はもとより、複合災害発生時の道路寸断などの備えともなるものです。また、乳幼児向け（3歳未満）に開発されたゼリー状の安定ヨウ素剤も公共施設4か所に分散備蓄したほか、PAZ（松尾・杉山地区）とPAZに準じた防護措置を行う地域（大山・田井・成生・野原地区）の対象児にも事前配布しました。分散備蓄した施設は次のとおり。



- 【対象地区と備蓄施設】
- ◆大浦地区…大浦会館
 - ◆東・中地区…中総合会館
 - ◆西地区…西総合会館
 - ◆加佐地区…加佐公民館
- ▶詳しくは、健康づくり課（☎65・0065）へ。

ナホトカ市長が表敬訪問

姉妹都市提携55周年を記念して

舞鶴市とナホトカ市（ロシア）の姉妹都市提携55周年を記念して、ナホトカ市代表团（团长＝アンドレイ・ゴレーロフ・ナホトカ市長、他5人）が10月24日、舞鶴市を訪れ、多々見市長を表敬訪問しました。



▲記念品を交換する多々見市長

一行はその後、ケンコーマヨネーズ（株）西日本工場と関西電力舞鶴発電所を見学。また、同日夜には記念式典と祝賀レセプションを開催。約70人の関係者が出席し、多々見市長が「55年前に植えられた友好の種は、歳月を経て大樹に成長した」とあいさつ。ゴレーロフ・ナホトカ市長は「青少年交流をはじめ、スポーツ・文化、教育、経済など幅広い分野で交流を続けてきた。これからも積極的に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

また、レセプションでは、箏アンサンブル「斗島市」による箏とサクソホンの演奏で歓迎したほか、記念品の交換が行われました。《みなと振興・国際交流課》